



社会福祉法人 御前崎厚生会
 特別養護老人ホーム 灯光園
 電話 (0548)63-3729(代表)
 FAX 63-4131
 灯光園デイサービスセンター
 63-6002
 灯光園在宅介護支援センター
 63-5116
 灯光園居宅介護支援事業所
 63-5115



芋ほり

施設長 澤島久美子

十一月二日、今年も芋ほりの日はいいお天気です。家族会、民生委員さん、静銀の皆さん等いつもの方々に加え、今年は御前崎中学校の卓球部の皆さんが来てくれました。

かわいらしい女子中学生です。みなさんにここにここのいい笑顔。お年寄りにも笑顔が広がりました。

静銀の皆さんも毎年来てくれます。畑に下りる急な坂は、車椅子には強敵です。怖いし、危ないし。ですが前タイヤを上げて段差に乗って、向きを換えてゆっくり坂を下りる方法や、「それっ」と勢いよく坂を上げるなど、男性陣が力を發揮してくれまます。のっているお年寄りは大安心です。

今年もたくさん掘りました。甘くてとても美味しいお芋です。てんぷらや大学芋など、楽しみです。切り干しもいいですね。

灯光園の暮らし

介護士 羽田美由紀

平成15年、私が灯光園に勤めたころは、時間で排泄介助をおこないました。一人一人のベッドをまわり、オムツ交換、ポータブルトイレ介助をしていました。食事はお盆にのせて、おかずも量も皆同じ、時間も決まっていた。眠くても朝早く起こされ、時間で生活が決められ、職員主導でした。当時のお年寄り達はよく「籠の鳥」を歌っていました。題が園の状況だと感じ、家に帰りたいのも当然だし、自分なら住みたくないなと思ふ場所でした。

そして平成19年、ユニット型特別養護老人ホームとなり個室個室の灯光園になりました。今までとの大きな違いはユニット(少人数)で暮らすこと、個室で、部屋にトイレや洗面設備があり、ユニット毎に台所があることでした。

当初、介護力向上に取り組み

オムツOを目指しました。各個室にトイレがあったことは大いに役立ちました。「ここのお年寄りは元気だね」と言われ、入居者の笑顔に背中を押され頑張りました。

老人福祉法第33条では「入居前の暮らしと入居後の暮らしが連続したものとなるように配慮しながら自律的な日常生活を営む事を支援する(略)」と、唱えられています。この事を現場にどう活かすのが課題です。

家にある使い慣れた家具の持ち込みをしたり、机や椅子を設けてもらったり、そこに昔のアルバムや趣味の本や馴染みの物を置きます。心地よい環境、居心地の良い場所を作ります。そして、入居者に希望を聞き、ご家族に暮らしぶりや好みを伺います。その人らしい生活ができます。そのケアをします。研修に参加した職員から、「ユニットケアでは「個」を大切に、起きて、買いたい時に起き、朝食を食べるだけ工夫して出かける。好き

なおかずは多めによそつてもいい」と話を聞き、その人らしい生活ができるようケアをしました。

Fさんはかなりの偏食で、好きなおかずを購入したり、ユニットで煮炊きもします。以前は考えられない事です。今は家庭と考え、職員も慣れてきました。Mさんは左麻痺があり、車いすは自走します。目が覚めるとコールで職員を呼び、身支度を整え、車いすに移った時から自由な生活を送ります。自分のペースで生活が出来ています。Sさんは生活の殆どに介護が必要です。目が覚めるまではカーテンを開けません。以前は出来なかつたことですが、職員の意識が変わり、当たり前になりました。

私達はまだまだ入居者、ご家族の思いに配慮されているとは言えません。それでも灯光園の暮らしも「まんざらでもない」と思っていただけだと願っています。

心む俳句教室

秋祭り いさみ太鼓と虫の声

KYさん

生きよう優しい家族ありがたい

KOさん

妻逝く俺の心へコオロギが鳴く

MSさん

軍歌歌う懐かしさこみ上げる

AMさん

昔話する思い出がこぼれ出す

YIさん

冬の風身に刺さるように来た

RMさん

TV見て洪水怖かった秋の日

TMさん

「紅葉」歌う思い出の秋が来る

FSさん

「夕日」沈む被災者帰る家がない

KYさん

敬老会 笑い 感動元気です

KYさん

共と話したい 少し淋しさある

KOさん

兵隊は男の行くところ

MSさん

悔し涙もあつた頃

孫がいる KOさん

高齢者の毎日と共にある デイサービスをめざして

灯光園デイサービスセンター

介護士 松下由香里

11月に入り季節はすっかり変わり、朝がづらい今日この頃です。さて、灯光園デイサービスセンターは今年度目標を2つたてました。一つは「利用者さんが自信を持って毎日を元気に過ごす」、二つ「季節を感じ豊かに過ごす」です。目標の取り組みの中間報告です。

痛みにも負けず元気に過ごす92歳の方です。今年の夏から利用を開始しました。左膝の痛みがあり、杖を使用しています。歩き始める時に痛みがあるのですが、足の屈伸運動をしてから歩きます。「これをやらんと歩けないんだあ。」と言って始めます。痛みのため歩行もやや不安定で

す。痛みにも配慮しながらパワーリハビリに専念しました。3か月が経ち、最近の様子は「足が軽くなったような感じがしているよ。運動のおかげかな。」と話してくれています。

痛いから大事にして動かないのではなく適切な運動をするこによりなめらかな動きをつくり元気に生活を送れるようになりました。

次は82歳の方です。お話が大好きで、デイサービスでは和やかな雰囲気を作ってくれる方です。デイサービスでの毎日は、洗濯済みのタオルを畳むこと、湯呑やコーヒーカーップを洗うこととです。台所で「ほかに洗うものはないかえ。」と声を掛けてくれ数十人分の湯呑を手際よくさっさと洗い上げてくれます。いつも申し訳ないですと言ふ職員に「今までしていた事、なんてことはないよ。」と言

笑顔で作業をしています。

役割や作業があることは私たちを元気にします。与えられるだけの生活は生活意欲を無くします。たとえ些細なことでも、ちいさなことでも良いのだと思います。「ありがとう」と声を掛けあうことが大切です。

4月から作品作りや行事を通じて季節を感じ豊かに過ごす事を大事にしてみました。

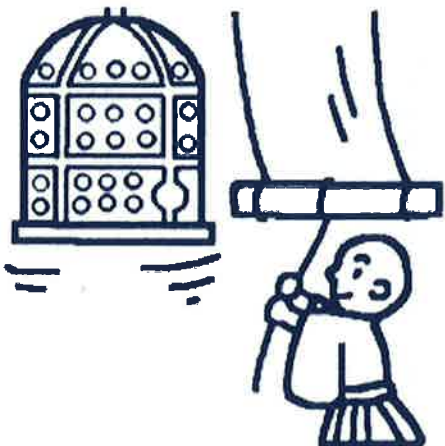
春はプラスチック板で花束を作ったり、お茶の葉やコーヒーを使って匂い袋を作りました。花束は食卓を飾り、匂い袋は皆さんに使って頂きました。どちらも好評でした。

夏は暑い日が続いたので熱中症の予防対策もあり冷たい飲みものバイキングを行いました。普段飲む機会の少ない、炭酸飲料やノンアルコールビールも数種類用意しました。ノンアルコールビールが人気だったのは

職員驚きました。また、冷たいゼリーや羊羹、水まんじゅうなどのスイーツバイキングも喜んでいただきました。

これからは収穫したさつま芋を使ったおやつ作り、クリスマスやお正月に向けての玄関飾りを計画しています。玄関に自分が作ったものが飾られていれば見るたびに誇らしい気持ちになります。

デイサービスの活動が高齢者の張り合いになり、毎日を元気に過ごせるよう今後も努力していきたいと思ひます。



灯光園きつさ

施設長 澤島久美子

灯光園が引越しをしてから一二年が過ぎました。皆さんは灯光園の玄関を入ったことがおありですか。残念ながら「建物は道から眺めるけど中に入ったことはないよ。」という方が多いのではないのでしょうか。そこで、灯光園では地域の方に灯光園に来ていただくために、喫茶店を開店しました。と言っても、月に一回開くだけです。スタッフは慣れない職員です。近くの下岬の老人会の方に声を掛けました。何人かの方が来てくれて「ただお茶を飲むだけでは、来にくいな」とのことでした。そこで毎回企画を考えることにしました。

十月には白羽の故高井利雄先生の達磨の絵を飾りました。老人会の方が「高井先生の達磨の絵の年賀状が家にある。」「先生は剣道の先生だけ達磨の絵を描いていたっけな」と、懐かしそうに話してくれました。早速



ご家族に連絡を取りお願いしてみました。家のふすまにも大きな達磨が描かれているそうです。立派な掛け軸のいろいろな達磨を展示しました。相良高校の卒業生や、白羽の白雲館関係の皆さんが来てくれました。何より喜んでくれたのが、灯光園入居中のご家族です。ご家族は彼女を喜ばせたくて企画に乗ってくれたのです。毎月の喫茶で展示を計画しています。灯光園前をお散歩の皆さん、ポスターを駐車場に貼りますので、喫茶開店の日にはぜひお寄り下さい。

ボランティア活動

～あいがとう～

灯光園

○九月

- 松下 けい子様 (盆踊り)
- 中山 美千代様
- 丸山 雅代様
- 八木 文子様
- 小田 たま江様
- 横山 文子様
- 増田 喜己子様
- 増田 喜代美様
- 増田 きよみ様
- 澤入 澄子様
- 横山 百合子様
- 吉村 彰子様
- 森田 輝子様
- 大澤 久美子様
- 山崎 麻妃様 (書道クラブ)

○十月

灯光園デイサービスセンター

- 日赤奉仕団様 (お話ボラ)
- 大澤 昌子様
- 小野田 薫様
- 乙坂 昇平様
- 乙坂 和子様 (家族会喫茶演奏)
- 山崎 麻妃様 (書道クラブ)
- 九月
- 川口 節子様 (絵手紙) 1回
- 鈴木 喜夫様 (俳句教室) 1回
- 十月
- 川口 節子様 (絵手紙) 1回
- 鈴木 喜夫様 (俳句教室) 1回
- あけぼの会様
- (踊り・歌・銭太鼓等) 1回
- 悠和会様
- (踊り・歌・銭太鼓等) 1回

「ご寄附ありがとうございます。」

職員募集

あなたの力でみんなを笑顔にしませんか。お気軽にご相談ください。担当：澤島 連絡先：631-3729

編集後記

空気が冷たくなり冬が来たなと感じます。寒暖差が激しいので風邪をひかないように体調管理を万全にしたいと思います。

J A南榛原地区女性部様